

体験型の学習で 命を守るお勉強

11月21日(水)、甚目寺東小学校で行われた、NPO法人ママ・ぷらすさんによる「防犯教育プログラム(防犯体験ミヤタメソッド)」を取材しました。市内全小学校の3年生に誘拐や連れ去りから自分を守る術を学んでもらう、この取り組みをご紹介します。



< NPO 法人ママ・ぷらすのキッズ防犯プロジェクト >

子育てママを応援し、各種講座やチャリティイベント、マルシェなど多彩な活動を行なっているNPO法人ママ・ぷらす。今回取材したプログラムは、親子で防犯への意識を高める「キッズ防犯プロジェクト」の一環です。大切だと分かっている、「どう備えたらいいかわからない」という人も多い防犯の話題。この子ども向けの体験型プログラムの他、ママが防犯について話し合うワークショップや家庭内で防犯のお約束を作るのに役立つ情報発信などもしています。



< 防犯教育プログラム(防犯体験ミヤタメソッド) >

実施されているのは、安全教育の専門家・宮田美恵子^{みやたみえこ}先生が開発したプログラムです。キッズ防犯プロジェクトのメンバーの皆さんが、宮田先生から指導を受けて、地域の小学校で講師として防犯知識を広めています。行動範囲が広がる小学校3年生を対象に、平成28年度から市内の全小学校で実施されています。

プログラムの特徴は、ただお話を聞くだけでなく、体を動かしながら学べる点。「学校の帰り道で知らない人に声をかけられた」といった具体的な状況を設定して、そのとき、どんなことに気をつけるべきか、もし危ない目にあったらどう行動すべきかを体験します。身を守るために大切なポイントがわかりやすくまとめられており、子どもたちも先生から教わったことをきちんと実践していました。

子どもだけでなく大人にも気づきがあり、子どもたちと一緒に気をつけるべきことが見つかる内容です。どんなことを勉強するのか? 詳しい話は、お近くの小学校3年生にぜひ聞いてみてください(今まで受けた4年生、5年生でもいいかもしれません)。



■取材後記■ 子どもの安全を願う地域のママたちが子どもたちに防犯の知恵を伝えるとっても素敵な取り組みです。親子で防犯を一緒に考える機会が市内でもっと広がったらいいな。
(by 市民記者 博士タロウ)